

福島をまるごと紹介！

## Fukuまる



**人情食堂**

福島県で愛され続ける  
**味と人**

どこか懐かしくて心地よい……。そんな空気が流れる食堂は、  
変わらぬ**味と人情**で地元では世代を超えて老若男女から愛され続けています。  
暖簾をくぐるとまるで**家族**のようによつても温かく出迎えてくれて、  
お腹だけではなく**心**も満たしてくれます。気取らないうちからホッとする……。  
そんな福島県の「**おらが町の人情食堂**」へ、ちょっと出かけてみませんか。

東北エネルギー懇談会では、福島県の復興支援を目的として、地域の商工会議所などの協力を得ながら、福島県の魅力を、冊子と特設サイトで紹介しています。

今回は福島県の観光支援として、電気新聞特別号「Fukuまる／まるごと福島 町の食堂特集」（タブロイド判8ページ）を発行しました。

本誌のこのコーナーで、「Fukuまる」誌面を転載してご紹介します。「ひろば」読者の皆さまも、ぜひ福島県の食と観光情報をお楽しみください。

浜膳（南相馬市）  
海鮮和食処 くらさか（浪江町）  
チーナン食堂（いわき市）  
味世屋食堂（いわき市）  
食堂トミーとマツ（会津若松市）  
亀鶴寿司（会津若松市）

●企画：東北エネルギー懇談会 ●協力：福島商工会議所・会津若松商工会議所 ●発行／2025年9月 ●発行所／一般社団法人 日本電気協会新聞部 電気新聞メディア事業局

地域を盛り上げる  
親子鷹はま ぜん  
浜 膳  
(南相馬市)復興に熱く立ち向かう  
只野訓良さん(右)、智士さん親子

青森県産山崎ボークのしょうが焼き定食

復興を「食」で支え、  
「地域のために」をいつも胸に

こうした心境の時に支えとなったのは、火力発電所の復旧工事のため出張していた宿泊客からの一言だった。気が滅入った只野さんが部屋を掃除していた時のこと。「何か手伝えることはありませんか」と声をかけられた。この宿泊客は、只野さんが「食」を通じて復旧・復興を支え続けている姿を見ていたのだろう。その心遣いに只野さんは「目頭が熱くなりました。地元で踏ん張ってきた甲斐があったと感じました」と当時を懐かしむ。

## 息子とともに

度重なる苦境を乗り越えてきた浜膳。今も人気の食堂であり続けている。ポリウム

**ゴーストタウンのよう**

東日本大震災の直後、南相馬市原町区の国道6号線沿いで店の明かりを灯し続けていたのは、食堂「**浜膳**」だけだったかもしれない。浜膳を運営する有限会社グロバルサービスタ代表取締役の**只野訓良さん**は「まるでゴーストタウンのようでした。周辺には人っ子一人いない状況でした」と当時を振り返る。卸業者など取引先と長年培ってきた信頼関係から、なんとか食材を調達し、温かい食事を提供することができた。これにより浜膳には復興・除染作業に当たる人たちが詰めかけるようになり、浜膳は「食」の提供で**地域の復興に大きく貢献した**。

## 2度の福島県沖地震

2021年2月13日と翌2022年3月16日。福島県沖を震源とするマグニチュード7超の巨大地震が発生。南相馬市は、2021年の地震では震度6弱、2022年の地震では震度6強の強い揺れに襲われた。東日本大震災からの復興が道半ばにもかかわらず、またしても停電や断水などが只野さんの前に立ちわかった。

併設するビジネスホテルでは、入浴施設が被害を受けた。理不尽とも思える自然の仕打ちに、只野さんは「あの時は心が折れそうになりました」と述懐する。

満点の野菜炒め定食やしょうが焼き定食は人気メニュー。しょうが焼きに使う豚肉は、青森県出身の妻の伝手で三沢市から調達している。かわり無料の定食の汁物は日替わりで、**カニ**が入っていることも。ご飯もおかわり無料だ。これには「**おいしいものをたくさん食べてもらいたい**」という只野さんの思いが込められている。

2025年3月、遠方からの客を呼び込むと、国道6号線沿いに新たに**ハンバーグ店「炭火焼ハンバーグ牛たま」**を開業した。こちらを任されているのは息子・**智士さん**だ。後継者難で店をたたむ飲食店が多い中、「食」を通じた**親子の地域貢献**はこれからも続く。



人気メニューの野菜炒め定食



新鮮な魚介が惜しげもなく盛られた刺身定食

## 浜 膳

南相馬市原町区高見町2-86-1「ビジネスホテル高見」1階  
Tel 0244-24-5668  
営業時間：11:30～14:00、17:30～21:00  
定休日：日曜日







高橋ミネさん(左)、娘・小泉かほるさん親子  
ミネさんの夜は近所の居酒屋でリフレッシュ

## 女将は 御年85歳

# 味世屋食堂 (いわき市)

## 昭和風情を残す気取らぬ老舗 震災乗り越えた創業当時の味



懐かしの味・ワントンメン



美しい五目ラーメンは塩味もオススメ



創業当時の味が受け継がれる素朴なラーメン



### 味世屋食堂

いわき市小名浜字竹町23-1  
Tel 0246-92-2492  
営業時間:11:00~16:00  
定休日:月曜日



いわき市小名浜には巨大ショッピングモールがある。その賑わい拠点から一步裏道に入ったところに、**昭和の風情**を色濃く残す老舗ラーメン店「**味世屋食堂**」がある。  
ランチタイムより少し早い時間帯にもかかわらず、店内はすでに満席。「こちそうさま」「ありがとね」という客とのやり取りはリズムカルで、どこか心地よい。  
人気は五目ラーメン、ワントンメン、チャーシューメン。鶏ガラベースのしょうゆ味のスープ、豚モモ肉を使ったチャーシューは、創業当時から受け継がれる**懐かしの味**だ。店内に流れる空気もゆったりとしている。客の出入

### ゆったりとした時の流れ

りは途切れないものの、せわしなさを感じさせないのが不思議だ。  
**津波に見舞われても残った暖簾**  
店を切り盛りするのは女将の**高橋ミネさん**、娘の**小泉かほるさん**、孫の**徹也さん**。初代は小名浜の地で駄菓子屋を営んでいたミネさんの父。小銭を握りしめた子供らが「**店屋**に行こう」と集う場だったが、1953年にラーメン店を開業。その際、初代の味へのこだわりと、子供たちが言う「**店屋**」にちなんで味世屋食堂と命名した。  
創業以来変わらないのは味だけではない。客を出迎える**藍色の暖簾**も、東日本大震災

でいるんじゃないかと気が気でありませんでした」と当時の心境を振り返る。店舗を新築し、営業を再開したのは2012年4月。「再開後、すぐにお客様は来てくれました。常連さんや取引先の方々からは「大丈夫だった?」と、私たちを気遣う声をいただきました」と、かほるさんは感謝を忘れない。  
**「万人の口に合えば良し」**  
客層は幅広い。地元の常連客もいれば、今は小名浜を離れて都会で暮らし、帰省すると必ず訪れるという客もいる。  
初代は「**万人の口に合えば良し**」という言葉を残した。「**母(ミネさん)、私、息子(徹也さん)が元気でいる限り、初代の味を守り続けたいですね**」とかほるさん。客からの「おいしいよ」「また来るね」という言葉を励みに、これからも「万人の口に合う」素朴で懐かしいラーメンを作り続けていく。

# 海鮮和食処くろさか (浪江町)

## 生まれ育った町で

昼時になると、「**海鮮和食処くろさか**」の前は店内に入れない客でこたえ返す。早い日にはランチ営業終了の時刻より前に品切れ。地元客や出張客から賑わう人気店である。  
包丁を振るうのは店主の**黒坂千潮さん**。東京で腕を磨いた**寿司職人**だ。東日本大震災の後、「生まれ育った町で居心地のいい空間をつくりたい」と2021年3月、今の場所を開業した。  
イチ押しは**海鮮丼**。黒坂さんの「どれだけキレイに見せるかにこだわっています」との言葉通り、彩りが豊かだ。**常盤もの**をはじめ、新鮮

## 復興途上の町にできる行列 本格寿司職人のビジュアルへのこだわり



黒坂千潮さん(右)、里美さんご夫婦  
休日は温泉でリフレッシュ



ビジュアルに  
こだわった海鮮丼

その当時の町の様子といえば、周辺にコンビニエンスストアが1軒あるぐらい。幼い頃から知る町の賑わいは跡形もなかった。食を提供する場が少ないのを目の当たりにし、「これで自分も何か貢献できると思いましたが」と、黒坂さんは当時を振り返る。磨き続けた寿司職人としての技を、**故郷の復興**に役立てようと前へ進み始めた。  
仮設店を経て、現在の地に瀟洒な店舗を構えた。モダンな空間にも、黒坂さんの**ビジュアル**へのこだわりが垣間見える。

### 居心地の良い空間を

浪江駅前では再開発が予定されている。故郷にまた少しずつ賑わいが戻ってきそうだ。



プロの目利きによる本マグロ刺盛は驚きの厚さ



肉厚でフワフワのアジフライ

### 海鮮和食処 くろさか

浪江町大字権現堂字新町31-2  
Tel/Fax 0240-34-7250  
営業時間:11:00~14:00、17:30~21:00  
定休日:日・月曜日



黒坂さんは「**町に、店に来てくれる人に、これからも居心地の良い空間を提供していきたいです**」と想いを語る。妻の**里美さん**とともに、地域の賑わい創出に貢献しようとする前を見据えている。







(右から)富山朋美さん、山野辺徹也さん、優華さん  
オリジナルの味を追求している

## ガッツリ系 定食の名店



会津ならではの太縮れ麺に豚バラチャーシューが載った  
水曜日限定のラーメン定食

ラーメンの店で腕を磨いた徹也さんの**自信作**でこれを目当てに水曜日に通う客も多い。  
ランチタイムは**ガッツリ系**のオーダーが相次ぐ。おすすめの唐揚げ定食は、こぶし大の鶏もも肉の唐揚げが4つと、ボリューム満点だ。どのメニューにも**「お客様にはお腹いっぱいになってほしい」**という朋美さんの思いが込められている。

**日々挑戦**

夜の部の営業は基本的に金曜と土曜のみだが、予約があれば対応している。客の好みを聞いたうえで提供するという気配りに満ちた宴会料理を楽しむに、週2〜3回の



コレが会津のソウルフード・ソースかつ丼



こぶし大サイズの唐揚げ

### 食堂トミーとマツ

会津若松市栄町1-31  
Tel 0242-36-7666  
営業時間: 11:00 ~ 14:00、17:30 ~ 21:30  
(※=夜の営業は金・土曜日のみ。その他は予約制)  
定休日: 不定休



## 食堂トミーとマツ

(会津若松市)

### 働く人のオアシス

この店名「**トミーとマツ**」にピンと来る人も多いのではないだろうか。  
1979年から民放で放送されたコメディータッチの刑事ドラマ「**噂の刑事トミーとマツ**」で松山刑事役を演じたのは歌手の松崎しげるさん。店を経営する株式会社富商・専務取締役の**富山朋美さん**によれば、店名は①夫のあだ名「トミー」②松崎しげるさん似の友人③マツザキくんという友人④ドラマ——に由来して命名したもの。  
創業は2022年7月。株式会社富商・食堂部門ができたのを機にオープンした。会津若松市役所やテレビ局、企業が集まる

## 店名の由来は懐かしの刑事ドラマ 会津グルメをアットホームな食堂で

### 豊富なメニュー

メニューは豊富。定食ものだけでなく、馬肉料理やソースかつ丼など**会津のソウルフード**もずらりと並ぶ。毎週水曜日の日替わり定食は、太縮れ麺に豚バラ肉のチャーシューが載った**喜多方ラーメン**に、ご飯ものと小鉢がつく「**ラーメン定食**」。かつて喜多方

エリアに立地し、昼時は客足が途切れない。朋美さん、息子の**山野辺徹也さん**、徹也さんの妻・**優華さん**が注文をききばきとさばいていく。近くで働く人にとってはオアシスのような店で、**アットホームな空間**は初めて訪れる人にも居心地の良さを感じさせる。

高い頻度で予約を入れる常連の団体もあるそうだ。  
朋美さんは「お客様からの『おいしかったよ。お腹いっぱい』という声を励みにしながら、**日々挑戦**しています」と話す。「**味も見た目も、この店にしかないものを提供したい**」との思いから、休日は研究のために食べ歩きに出かけることも多い。



## チーナン食堂

(いわき市)

### 港町の看板双子姉妹

いわき・小名浜漁港のほど近く、潮の香りが漂う一角に「**チーナン食堂**」はある。店名は戦時中、満州鉄道で働いていた創業者の親族が**中国の都市・濟南**で営んでいた食堂の名前が「チーナン食堂」だったことから命名した。  
店は午前11時の営業開始だが、その前にはもう、なじみの客が暖簾をくぐる。「ノブちゃん、ケイちゃん」こと**国井信子さん**、**片根恵子さんの双子姉妹**がハキハキと注文に応じ、いつの間にか営業が始まる。ランチタイムになると客の出入りはひっきりなし。よく通る姉妹の声とともに店内は活気づく。

## 元気印の「ノブちゃん、ケイちゃん」 賑やか空間にお腹も心も満たされて

### 商売の楽しみ

創業は1953年。食糧事情が悪かった時代に二人の母が小名浜で食堂経営に乗り出した。それ以来、70年余にわたり**家族経営**を続けている。  
恵子さんは若い頃、この商売が好きではなかったそう。高校卒業後は東京に出たい

### これからも青春

ノブちゃん、ケイちゃんの**笑顔**に元気づけられ、**ファン**になった人も多い。常連客の一人が「笑門来福」と書かれたステッカーを作ってくれた。もちろん非売品だが、これを欲しがる人がいて、小名浜港に寄港した漁業関係者が「ヘルメットに貼りたい」と申し出てきたことも。「お客様が当店を宣伝しようとしてくれるんです」と恵子さん。

笑いと客足が絶えない店の**看板姉妹**は「お客様と、この商売を残してくれた先祖に感謝。体が続く限り仕事を続けたい。これからも青春です」と口を揃える。



### チーナン食堂

いわき市小名浜字栄町66-30  
Tel 0246-92-2940  
営業時間: 11:00 ~ 16:00  
定休日: 火曜日



「お客様に楽しませてもらっている」と  
国井信子さん(右)、片根恵子さんの双子姉妹



人情食堂ならではのチャーシュー麺と半チャーハンセット



丼からはみ出すボリュームのかつ丼



カツカレーはこのボリューム



コレが常連客が作ったステッカー





# 会津きたたら 寄ってってなんしょ！ 亀鶴寿司 (会津若松市)

## 番外編



(右から)平山篤司さん、  
典盟さん、山内太一さん  
店が混むほどに3人の  
連携プレーが光る



豪快!! まぐろにぎり



大人気のばらちらし

会津若松市はレトロな街  
並みを楽しめる場所が多い。野口英世が青春時代を  
送ったことにちなむ「野口  
英世青春通り」もその一つ。  
この通り沿いに看板を掲げ  
ているのが「亀鶴寿司」だ。  
1982年創業の名店であ  
る。癒し系店主の平山典  
盟さん、東京・築地で修業  
を積んだ息子で二代目の  
篤司さん、それに「ヤマチャ  
ン」こと愛されキャラの山  
内太一さんの3人が調理場  
に立ち、磨き抜かれた職人  
の腕を振るう。

## 40年余の歴史

今でこそ昼夜を問わず常連客から賑わ  
う繁盛店だが、40年余の歴史の中には苦  
労も詰まっている。東日本大震災で会津若  
松市は物的被害こそ少なかったものの、東  
京や仙台からの物流が寸断。新鮮なネタ  
を確保するのが難しくなり、発災からしば  
らくの間は休業を余儀なくされた。また  
「福島県への風評被害も深刻だった。  
北海道の取引先からの支援により、ネタ  
の調達に目処がついたタイミングで営業を  
再開。篤司さんは「店がサプライチェーン  
に支えられていることを肌で感じました」

## 「山国だからこそ」

会津若松市に限った話ではないが、回  
転寿司チェーン店の出店などにより多く  
の老舗寿司店が暖簾を下ろしている。そ  
の時流に負けじと、亀鶴寿司のランチメ  
ニューはリーズナブルだ。「にぎりランチ」は  
1,210円(税込)。いつもは回転寿司だ  
が、たまには「回らない寿司」を味わいた  
いと思う客層に刺さる価格設定である。  
東京・豊洲や仙台から直送される新鮮  
なネタ、素材にひと手間加えた江戸前  
の技、良心的な値段、会津の地酒……。こ  
うしたこだわりは「山国だからこそ新鮮な海  
鮮を食べていただきたい」との思いからだ。  
暖簾をくぐった先では、典盟さんたちが  
柔らかい表情で待っていてくれる。



### 亀鶴寿司

会津若松市中町2-82  
Tel/Fax 0242-27-8596  
営業時間:11:30~14:00、  
16:00~21:00  
定休日:月曜日



ほんのり甘くやわらかい……。  
店主の手柄を感じさせる玉子焼き



塩とワサビで食す穴子白焼き

## 1 浜膳 周辺 (南相馬市)

### ● あすびとパーク

津波被災地を活用した学びの場。巨  
大コンセントのオブジェは、SNS映え  
するスポットとして人気。

【問い合わせ・アクセス等】  
一般社団法人 あすびと福島

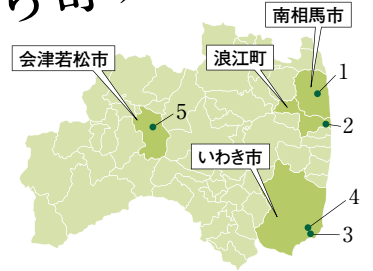


### ● 浜の駅 松川浦

相馬で水揚げされる新鮮な海  
産物をはじめ特産品がずらり。  
飲食スペースでは「地魚丼」や  
「漁師のまかない丼」など海鮮  
料理を堪能できる。景勝地「松  
川浦」はすぐの距離。

【問い合わせ・アクセス等】

# ちよつと 足を延ばして お立ち寄りスポット



## 3 味世屋食堂 周辺 (いわき市)

### ● 「環境水族館」 アクアマリンふくしま

約800種類の生物を展示。体験メ  
ニューが豊富で、楽しみながら海の  
魅力を学べる。

【問い合わせ・アクセス等】



### ● 国宝 白水阿弥陀堂

平安時代後期に建立された、浄土  
庭園を備えた仏堂。紅葉シーズンの  
ライトアップは人気。

【問い合わせ・アクセス等】

## 2 海鮮和食処 くらさか 周辺 (浪江町)

### ● 東日本大震災・ 原子力災害伝承館

東日本大震災と東京電力福島第一  
原子力発電所事故の実態や、復興  
に向けた歩みを展示。

【問い合わせ・アクセス等】



### ● 道の駅なみえ

請戸漁港で水揚げされた海鮮や「な  
みえ焼きそば」などご当地グルメが  
味わえる。陶芸体験教室などもある。

【問い合わせ・アクセス等】

## 5 食堂トミーとマツ 周辺 (会津若松市)

### ● JR只見線の絶景

奥会津を走る只見線沿線には、絶  
景ビューポイントがいくつも。四季そ  
れぞれに美しい景観を見ることがで  
きる。

【問い合わせ・アクセス等】  
只見線ポータルサイト



### ● 塔のへつり

100万年の歳月をかけて、浸食と風  
化がつくりだした景観は壮観。阿賀  
川(大川)沿いの断崖に奇岩怪石が  
並立する。

【問い合わせ・アクセス等】  
下郷町観光協会

## 4 チーナン食堂 周辺 (いわき市)

### ● 塩屋埼灯台

青い海に映える白亜の灯台。全国でも珍  
しい「登ることのできる灯台」。最上階から  
眺める太平洋の大海原は絶景。「日本の  
灯台50選」にも選ばれている。

【問い合わせ・アクセス等】  
いわき市観光サイト



### ● いわき湯本温泉

「美人の湯」と絶品海鮮料理を楽し  
める。温泉宿の女将でつくる「フラ女  
将」がお出迎え。

【問い合わせ・アクセス等】  
いわき市観光サイト